

東日本大震災の被災者支援に関する情報を募集しています。

(住所、氏名、電話番号を明記してください)

河北新報社報道部

ファクス 022 (211) 1256

メール

asuhe@po.kahoku.co.jp

情報をお寄せください



「図鑑がいいのでは?」。5月に開催されたJKSK第7回車座で、市民の力で防潮林の再生と維持を目指す「わたりグリーンベルトプロジェクト」(わたりGBP、宮城県亘理町)が、地域を守っていくためにはどのような次世代の育成を行うか?を話し合う中で「図鑑をつくる」という企画が生まれました。

早速、7月から長瀬小4年生の総合学習として、「長瀬小地区の宝物図鑑をつくろう」がスタートしました。自分たちが思う地域の「宝物」について調べ、最後は亘理町や町外の方、後輩へ伝えるというプログラム。どうしたら子どもたちが自発的に楽しく取り組めるか、わたり

東北

復興日記



92

次世代育む宝物図鑑

宮城県美術館勤務

及川奈七見さん



@被災地

GBPの細田幸恵さんや地域の方々、先生と考え、子どもたちの反応や様子を見ながら進めていく過程は、とてもワクワクするものでした。

11月28日、いよいよ発表会当日。写真。鳴り砂、ダルマストーブ、防潮林…。

子どもたちは緊張しながらも、インターネットだけではなく、実際に見たり、触ったりしました。地域の方から聞いた発見をイラストや文章にまとめ、地域に住む大人も知らない宝物の理由を分かりやすく伝えていました。そして、発表後、「今はないけど、戻したい」「残していきたい」と、子どもたちが感想を述べる姿が印象的でした。

震災の時、幼稚園に通っていた子どもたち。去年までは海岸付近には怖くていけませんでしたが。今年の夏休みに地域の気になるもの、宝物だと思ふもの、大切なものを見つけ、大きな地図にする作業をしました。意外にも沿岸部のものが多い結果に。今回は夏休みを利用して親御さんたちと海岸付近まで足を運ぶようになりしました。このプロジェクトが、少しずつ心をほぐすきっかけにもなっているかと願っています。

子どもたちが一生懸命つくった図鑑は、来年2月中旬に冊子にする予定です。わたりGBPのホームページにてご覧いただける形にしますので、お楽しみに!

この寄稿は、東京のNPO法人JKSKと、被災地の女性たちが連携して復興に取り組む「結結(ゆいゆい)プロジェクト」の協力を得て週一回掲載しています。